

# 和歌山県指定史跡

おおじしんつなみこころえ

## 「大地震津波心得

### きひ の記」碑 (拓本複製縮尺約 1/2)

所在地：有田郡湯浅町湯浅 785 番地 (深専寺門前<sup>じんせんじ</sup>)

関連する津波：安政南海地震津波 嘉永7 (安政元) 年 (1854) 11 月 5 日

建立された年：安政3年 (1856)

サイズ(本体)：高さ 183.0 cm 幅 62.2 cm 奥行 34.0 cm

令和2年度調査・拓本採取

安政地震津波のちょうど2年後、3回忌のタイミングとなる安政3年11月、湯浅村（現湯浅町湯浅）の多くの村人からの寄付により深専寺門前に建てられました。

今後大地震が起こった際には、必ず津波が押し寄せてくると考えて、絶対に浜辺や川筋には逃げず、この門前の道を東へ向かって逃げることを、などと記されています。